

「学力日本」を目指します！

「知・徳・体」のバランスのとれた学力をく ◆学校教育課 圏内線384

子供たちが変化の激しいこれからの社会を生きるため、「確かな学力」を身に付け、生きる力を育む教育の推進に取り組み、引き続き、学力日本を目指します。本市では、一般的な学力調査によって測定できる、いわゆる「知力」だけを学力とは捉えていません。思いやりの心などの「徳力」や、走力や投力などの「体力」も、広い意味での学力であり、「知・徳・体」のバランスのとれた力、これを学力と捉え、子供たち一人一人の学力を伸ばしていくために、各学校では具体的な取組みを推進します。また、生きる力を育むための土台として、「熊谷の子どもたちは、これができます！」「4つの実践」と「3減運動」に引き続き積極的に取り組みます。大人が手本となり、学校・家庭・地域が一体となって推進していきます。引き続き、ご協力をお願いします。



ゲストティーチャーを招いた道徳の授業



課題解決学習



ピンクリボンの会による「いのち」の授業

市P連の4つの実践

熊谷市 保護者の「スマートフォン『4つの実践』」
大人が手本となって

子供は、大人の言ったようにやらない。
大人がやったようにやる。

これだけは実践しよう！

- 1 子供のスマホにはフィルタリング設定をする。
- 2 午後9時以降は使用しない。
- 3 食事中や歩行中等の「ながら」操作はしない。
- 4 他人を傷つける言葉や個人情報を書き込まない。

スマートフォンは小さなパソコンです。インターネットの危険性に十分注意し、ルールとマナーを守って安全に使いましょう。

徳 子供たちがよりよく生きるための道徳的実践力を養っていきます。「ここは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える」という言葉のとおり、行為に表すことが価値あることとして道徳的実践力の「見える化」に取り組みます。

【具体的な取組み】

- ・家庭や地域と連携した体験活動
- ・考えや気持ちを言葉や行動に表す授業
- ・積極的な授業公開、ゲストティーチャーの活用
- ・実生活の中での「見える化」の実践
- ・「いじめ撲滅宣言」の実践・徹底

知 徳 体

「学習指導の充実」
「心の教育の充実」
「体力向上の推進」

体 運動の特性や楽しさを味わわせる授業を行い、子供たちの体力と運動の技能を高め、体力向上に取り組みます。

【具体的な取組み】

- ・明確な個人目標への挑戦
- ・運動量を増やし、汗をかかせる授業
- ・生活習慣の改善・食育の充実
- ・体育指導専門員の派遣

知 学習内容を明確にした授業を行い、子供たちに「わかった」「できた」「ほめられた」という体験を積み重ねていきます。

さらに学力向上補助員を73名から78名に増員し、一人一人に応じた、きめ細かな指導の充実に取り組みます。

【具体的な取組み】

- ・学力向上テキストの配布・活用
- ・教師の指導力を高める研修の充実
- ・補充学習充実のための「くまなびスクール」開講



外部指導者を招いた保健体育の授業

熊谷教育の原点(幡羅高等学校「家庭心得から」)

「教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実が成る。」

これは、教育の原点とも言えるべき、市内弥藤吾にあった「幡羅高等学校」の保護者宛の通知「家庭心得」(明治三十一年)にある言葉です。

本市では、これを熊谷教育の羅針盤と位置付け、教育施策を推進しています。

体力の向上

【毎日、必ず朝食を食べる割合】

・基本的な生活習慣の確立を目指す「4つの実践」の取組みの一つである「朝食の摂取」と学力は相関関係にあります。

	目標値	24年度	25年度	26年度
市全体	100	92.8	98.0	97.8

【新体力テスト】

・新体力テストの県平均値を上回る項目の割合を示しています。

	目標値	24年度	25年度	26年度
市全体	80.0	54.9	68.8	78.5

平成27年度 後期(10月16日～ 3月31日) 平成27年度 前期(4月1日～ 10月15日)

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
3/17 修了式 3/16 卒業式	3/25 修了式 3/24 卒業式	1/8 授業開始 冬休み 12/24 授業終了	11/27(金) 第2回 中3実力テスト 国・数・社・理・英	10/19 後期開始 秋休み 10/15 前期終了	9/30(水) 第1回 中3実力テスト 国・数・社・理・英	8/31 授業開始	夏休み	7/17 授業終了	4/16(木) 埼玉県学力・学習状況調査(小4～中3) 小4～中1(国語、算数・数学) 中2、3(国語、数学、英語) 4/21(火) 全国学力・学習状況調査(小6・中3) 小6、中3(国語、算数・数学、理科)	4/10 入園式	4/8 始業式

通知票を渡す時期は一例で、時期、回数、教科は学校ごとに異なります。

夏休みの期間は学校ごとに異なります。

一人で悩まず、ご相談ください

◆教育相談窓口(圏内線551)

相談内容

- ・不登校、非行、問題行動、いじめ
- ・障害、発達の遅れ
- ・児童生徒の教育

相談方法

- ・面談相談または電話の相談

相談日 月曜日～金曜日(9:30～16:30)

フォトニュース

熊谷・籠原両駅の階段アート作品の募集

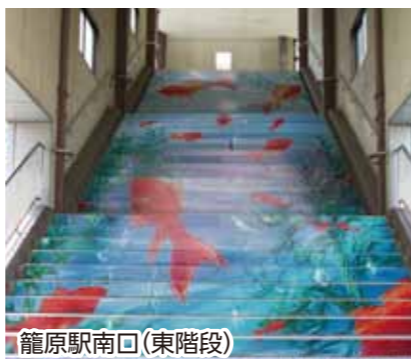
	①「暑さ対策」涼しさ体感アート ～あなたの作品が熊谷市の夏を彩ります～	②熊谷市誕生10周年記念階段アート ～みらいをアートで描きませんか～
応募作品	「涼」、「水」、「青」をテーマとした作品(絵画・CG・写真などのアート)	「かがやき」、「飛躍」、「みらい」を想起させるような作品(絵画・CG・写真などのアート) ※「熊谷らしさ」は問いません。自由な作品を募集します。
応募締切	5/22(金) 必着	7/17(金) 必着
作品展示期間	7/1(水)～9/30(水)	10/1(木)～3/31(木)
作品展示箇所	熊谷駅(正面口、南口) 籠原駅(北口2か所、南口2か所)	
応募方法	応募用紙と応募作品をEメール、郵送、持参のいずれかで企画課へ提出してください。Eメールの場合は、送信後に必ず企画課にご連絡をお願いします。 ※応募用紙は市ホームページまたは企画課にあります。 ※応募用紙1枚につき1作品とし、応募書類は返却しません。	
その他	籠原駅北口西階段は「中学生以下の部」として、中学生以下の方の作品を展示します。作品採用者の方には、記念品を贈呈します。	

注意事項(①②共通)

- 写真作品の場合は、できるだけ画像解像度を高いものとしてください。
- 応募作品は、階段の形状、通行の安全により加工・修正する場合があります。
- 階段の下部に企業等の協賛表示枠が入ります。(作品には重ならないよう配慮します。)
- 被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- 他コンテンツへの入賞作品、応募中の作品または応募予定の作品は応募できません。
- 応募用紙に記載された個人情報は、本件以外の目的には使用しません。
- 作品の展示に関しては、作品名と氏名またはペンネームを公表します。
- 作品は、印刷物等への使用など、本市のPRに活用することがあります。
- ◆企画課 ☎内線528 Eメール kikaku@city.kumagaya.lg.jp 〒360-8601 宮町2-47-1



熊谷駅正面口



籠原駅南口(東階段)

階段アートへの協賛(掲載広告)の募集

熊谷市の玄関口を彩る作品への応援または市のこれからの発展を願う事業の趣旨にご理解、ご賛同いただける企業、団体の方は、ぜひ協賛をお願いします。

協賛の方法および特典

事業の趣旨にご賛同いただいた場合、特典として階段アート展示をする階段の一部に協賛表示を掲載します。

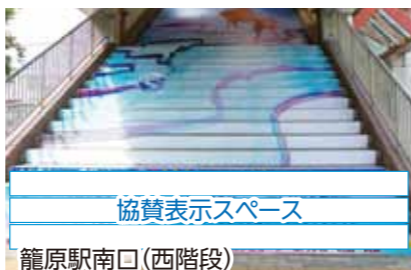
	①「暑さ対策」涼しさ体感アート事業	②熊谷市誕生10周年記念階段アート事業
掲載期間	7/1(水)～9/30(水)	10/1(木)～3/31(木)
応募締切	5/22(金) 必着	7/17(金) 必着

表示箇所	協賛額	特典
熊谷駅南口階段	① 80,000円/枠 ② 160,000円/枠 (各最大5枠)	当該階段に設ける、協賛表示枠の提供 1段/1枠
籠原駅南口階段(東階段) ※籠原若竹幼稚園側	① 40,000円/枠 ② 80,000円/枠 (各最大3枠)	◎掲載内容 企業名、ロゴマーク等
籠原駅南口階段(西階段) ※諏訪神社側		

- ※協賛表示枠の位置(段)については企画課で調整します。
- ※デザインについては、事業趣旨をご理解いただき、作品テーマと調和の図れるもの(色彩、文言)としてください。
- ※応募多数の場合は、表示枠を市で調整する場合があります。
- 応募方法** 市ホームページに掲載の協賛応募用紙を、Eメールにて下記まで提出してください。
- ※画像の入稿方法はイラストレーター形式を推奨します。
- ◆企画課 ☎内線528 Eメール kikaku@city.kumagaya.lg.jp



熊谷駅南口



籠原駅南口(西階段)



みんなでダンスもしたよ!

2月14日、江南総合文化会館ピピアで第7回熊谷市消防音楽隊定期演奏会が開催されました。演奏やアトラクション、ダンスに会場は大盛り上がりで、楽しみながら災害に備える事の重要性を学びました。



お香の立ち込める境内で

2月25日、文殊寺の大縁日が行われました。ここは、知恵をつかさどる文殊菩薩を本尊としており、「野原の文殊さま」として昔から親しまれています。



ニュージーランドで実りある交流を

3月6日、姉妹校であるジェームズ・ハーゲスト・カレッジへの短期派遣を控え、熊谷西高校の生徒が、市長を表敬訪問しました。渡航の前に、生徒達は異文化交流への期待や抱負などを語りました。



江南行政センターに電気自動車用充電器を設置

4月1日に設置されたこの設備は、埼玉県と地元企業で構成する熊谷地域次世代自動車・新エネルギー普及促進協議会等から寄附を受けたもので、一般の方も利用でき、電気自動車の普及が期待されます。



被災市民の速やかな支援を

2月24日、熊谷市と株式会社熊谷青果市場の間で、災害時における物資の供給等に関する協定締結調印式が行われました。災害時、野菜や果物等の供給を受けることにより、市および被災市民に対する円滑な支援が期待されます。



第9回産学官連携まちづくりフォーラム

2月22日、立正大学で開催され、防犯まちづくりの手法についての講演や事例報告および立正大学生による日本酒製作等の事例報告を、参加者は熱心に耳を傾けていました。

おたよりパレット

テーマ 入学式の思い出

ドキドキ、ワクワク…期待と不安が入り混じる入学式。年月が経っても思い出は大切に心の中に留められているようです。今回もたくさんのエピソードを寄せていただきました!

おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ2月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 昨年、息子が小学校へ入学しました。体より大きなランドセルを背負った息子の成長にとっても感動しました。初めての子で、親である自分達が緊張していたのを覚えています。もうすぐあれから1年。早かったのか、長かったのか、自分にとっても、ある意味小学校1年生でした(笑) (30代・女性)
- 60年も前の話になりますが、戦後のベビーブームで生徒があまりに多く、1学年8クラスくらいありました。入学式の後、教室がわからなくなって泣いた思い出があります。今、孫の学年は1クラスしかないの、迷うことはありませんね。(60代・女性)
- 約20年前のことですが、子どもの入園式に、スーツを着て出かけました。会場の駐車場で着き、車を降りた時、なんと靴がサンダル。恥ずかしい思いをしました。もうその子も26歳で、立派な大人になっています。(50代・男性)
- 子どもの小学校入学式の日のこと。主人、私、子どもで道を歩いていると、前から歩いてきたご婦人に「おめでとうございませ」と声をかけられました。離れたところに住む母からの言葉に感じられて、とても嬉しかったのを覚えています。(30代・女性)

今月のテーマ、「わが家のエコ対策」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「わが家のエコ対策」のコメントを必ず記入し、4月22日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☎ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。

今月の問題

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
①熊谷市誕生10周年記念 NHK公開収録「□」歌謡笑劇団「観覧募集」
②学力向上対策を推進し、「学力□」を目指します!

今月のプレゼント

「Soba de Cafe とら吉」ご提供のもりそばを、正解者の中から抽選で10名に提供します。
所在地: 肥塚4-79-1
電話: 048-538-8990

読んで当てよう
市報クイズ

2月号の正解
①マイナンバー ②4 ◆応募総数75通中、正解71通

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課☎内線212までお問合せください。

夢追人

平成18年、熊谷で創業

ものづくりが好きで、東京の服飾メーカーでデザイナーや企画の仕事をしていま

した。子どもが生まれたのを機に熊谷へ引っ越し、新幹線通勤

をしていますが、東京でなくとも仕事ができるかと考え、熊谷で会社を設立しました。

当初は、前職で関りのあった下着のデザインや企画、受託生産をしていましたが、自社ブランドを作りたいという思いから、自転車用ウェアのブランドを約3年前に立ち上げ

ました。



「熊谷発のスポーツ総合ブランドを」

サイクルウェアメーカー代表
服部 稔さん(本町)

ポリシーをもって

困難を突破

趣味として自転車に乗っていましたが、着たいと思う自転車用ウェアが少なく、自分でも作ってみようと思いたちました。試作品は、友人達から予想以上に好評を得たため、本格的な制作に取りかかりました。当時、社員達からは、社長が趣味の延長で何かを作っている心配の声もあったかもし

れませんが、実際に販売するまでは、困難の連続でした。時には良い生地を求め、海外にも交渉に赴きました。欧米産のサイクルウェアが大半を占めるなか、アジアを対象にしたブランドを作りたいという思いがあり、試行錯誤を繰り返して、開発から3年を掛けて納得のいく製品が出来ました。販売もブランドが認知されるまで苦労しましたが、品質の良さには自信を持っていたので、粘り強く説明を続け、徐々に色々な店に置いてもらうことができました。ポリシーをもって行動した結果だと思っています。



展示会の様子

ものづくりの良さを伝えたい

私達の製品を使っていたあなたお客様から「よかったですよ！」と感想を聞けることが何にも変えられない喜びであり、この仕事の魅力です。お客様との会話の中で、「熊谷」がでてくることもあり、ふるさとである熊谷の人達にも支えられている気がしています。

今後は、自転車用ウェアだけではなく、ランニングウェアなども手がけ、アウトドアの総合スポーツブランドを目指していきたいと考えています。自分のブランドを知ってもらうことで、ものづくりの良さを発信し、後に続く人達のお手本になりたいですね。会社を通じて地域に貢献していければと思います。

ニャオざねゆる散歩

ニャオざねが市内の公園を紹介します！

万平公園は、園内の北側に約150メートルに渡る旧熊谷堤、蚕霊塔(繭の供養塔)などの史跡があり、毎年春にはソメイヨシノやシダレザクラなどを楽しむことができます。

昭和44年度から信号機や標識が整備された交通公園として活用されてきましたが、平成25年度に再整備を行い、現在は、地元校区連絡会による花いっぱい事業などの協力もあり、多くの利用者がくつろげる大きな広場に生まれ変わりました。

第1回 万平公園

旧桜堤がキレイだにゃ〜

蚕霊塔

ユニークな遊具がたくさん!

めずらしい遊具だにゃ!

所在地: 万平町1-1 面積: 1.04ha
 施設: 多目的トイレ
 遊具: プランコ、滑り台、スプリング遊具 ほか
 その他: 災害時の一時避難所

人口と世帯 平成27年3月1日現在(対前月比) ■人口 201,282人(-83) 男 100,354人(-39) 女 100,928人(-44) ■世帯 83,534(+39)

「市報くまがや」4月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日 平成27年4月1日 ●発行 熊谷市
 ●編集 広報広聴課 〒360-08601 熊谷市宮町二丁目47番地1
 電話 048-524-1111(内線206) 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも市報くまがやをご覧になれます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>